

平成 29 年度 企業視察会を実施

平成 29 年 11 月 8 日(水)に実施した企業視察会の概要を紹介いたします。

1. 参加者 25名

2. 訪問先（宇部興産株式会社の施設を訪問）

- (1) UBE-i-Plaza（宇部市大字小串 1978-96）
- (2) トレーラー整備場（宇部市西沖の山 7489）
- (3) 宇部興産専用道路
- (4) 伊佐セメント工場（美祢市伊佐町伊佐 4768）

3. 視察概要

(1) UBE-i-Plaza（10:40～11:30）

宇部興産の歴史や製品を展示した総合案内施設で、宇部興産紹介ビデオの鑑賞の後、施設内を案内していただいた。

宇部興産は「有限の鉱業から無限の工業へ」の言葉により石炭産業から機械・セメント・肥料の企業になっていった。

石炭灰・製鉄スラグ、自動車タイヤ、浄水汚泥、建築廃材等を 1450℃で高温処理することにより、セメントの原料として利用している。東日本大震災等のがれき等もセメント材料に利用した。



(2) トレーラー整備場（11:45～12:20）

一般道を走ることができないダブルストレーラーを間近で見学した。ダブルストレーラーは全長30m、総積載量80tで、40tのタンクを2台連結して走行する。燃料タンクは600ℓの容量がある。以前は外国製が多かったが、最近では国産車も導入されている。

説明の後、運転はできないが、実際に運転席に座って大きさを体感した。



(3) 宇部興産専用道路

宇部市の工場と伊佐セメント工場を結ぶ、全長32kmの日本で最も長い私道である。一般の車は

走行できない。また、工場構内の道路という位置付けのため、道路交通法等の法規の規制を受けない。専用道路内を運転するには社内審査と講習を受けて、道路専用の運転資格を

取得する必要がある。速度制限70km/hを始め厳格なルールが適用されている。
伊佐セメント工場で製造したセメントの半製品であるセメントクリンカーを宇部の工場まで運搬するのに使用している。

(4) 伊佐セメント工場 (13:45~14:35)

石灰石の鉱山として開発された。

石灰石・粘土・酸化鉄・珪石を混合して焼成し、セメントクリンカーを製造している。

同工場の近くには民家もあるので、高さ5mの防音壁を設置し、発破の時間も正午に限るなど周辺への配慮をしている。

石灰石の露天掘りの鉱山は、大規模でタイヤの直径が2mのトラックでクリンカー工場まで運搬している。

クリンカーを製造するキルンは高温（表面温度300~400℃）で近くを通っただけで熱気を感じるほどであった。



4. 視察を終えて

ご多忙中にもかかわらず、ご参加いただきました皆さま、そして視察にご協力いただきました宇部興産株式会社の皆さま方にはこの紙面をお借りして、厚く御礼申し上げます。

宇部興産株式会社OBの方がエスコーターとして同社のCSRの取組みや創業時からの歴史についてご案内いただきました。

参加された方々の主な意見としては、「普段は絶対に走行できない宇部興産専用道路を走行でき、感動した」「ダブルストレーラーを間近で見ただけで大きさを実感した」などの声がありました。